

株主優待制度 のご紹介

日本全国の幸楽苑グループの店舗でご利用可能な優待お値引き券です!

毎年3月末日現在の株主の皆様に対し、優待券を年1回、以下の基準により贈呈いたしております。

贈呈基準 それぞれ①もしくは②のいずれか1つをお選びいただけます。

ご所有株式数	①	②
1,000株以上	20,000円相当の優待券(500円×40枚)	コシヒカリ10kg
500株以上1,000株未満	10,000円相当の優待券(500円×20枚)	コシヒカリ5kg
100株以上500株未満	2,000円相当の優待券(500円×4枚)	

利用方法 ①幸楽苑グループの各店舗(幸楽苑、和風厨房 伝八)でご利用いただけます。
②ご優待券と同封の返信用封筒をご利用いただきご優待券を返送していただいた場合、ご優待券のご返送分に応じてコシヒカリを送付させていただきます。

有効期限 発行日より1年間

株主の皆様のご利用をお待ちしております。

株主メモ

事業年度 毎年4月1日～翌年3月31日
 剰余金の配当基準日 3月31日(中間配当を行う場合は9月30日)
 定時株主総会 毎年6月中旬
 単元株式数 100株
 株主名簿管理人 東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵便物送付先	お取引の証券会社になります。	〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4
電話お問い合わせ先		0120-288-324 (フリーダイヤル)
お取扱店		みずほ信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
ご注意	未払配当金の支払、支払明細発行については、右の「特別口座の場合」の郵便物送付先・電話お問い合わせ先・お取扱店をご利用ください。	

公告方法 電子公告 (http://www.kourakuen.co.jp)
 ただし、やむを得ない事由によって、電子公告による公告をすることができない場合には、日本経済新聞に掲載して行います。



株式会社 幸楽苑

〒963-0725 福島県郡山市田村町金屋字川久保1番地1
 Tel.024-943-3351 Fax.024-943-3726 URL http://www.kourakuen.co.jp

モバ麺クラブ

<http://www.kmb.bz>

会員限定のお得なクーポンや店舗情報を毎週1回お届けしております。ぜひアクセスしてみてください。

スマートフォンでもご利用いただけます。



第45期 報告書

2014.4.1 >>> 2015.3.31

証券コード: 7554

B U S I N E S S R E P O R T 4 5 t h



細麺

期待の新メニュー

つかさ

「司」らーめん



代表取締役社長

新井田 傳

Tsutae Niida

ごあいさつ

平素より当社事業へのご支援とご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第45期(2014年4月1日～2015年3月31日)の経営成績がまとまりましたので、ここに事業の概況等についてご報告申し上げます。

当期におきましては、内部組織の改革着手や、期待の新メニュー「『司』らーめん」及び旬な季節の限定メニューの機動的投入、経費削減策の推進等の結果、厳しい経営環境ながらも増収また最終損益では増益を達成することができました。加えて今後に眼を転ずれば、岡山「倉敷四十瀬店」の奏功及び同店を足掛かりとした西日本地区の一層の開拓など、新しい成長の芽も着実に芽生えてきております。

今後ともあらゆる施策に邁進し、株主の皆様へ「幸楽苑の株主で良かった」と思ってもらえるような会社として成長を遂げていきたいと考えております。何卒よろしくお願い申し上げます。

2015年6月

500店舗体制に相応しい 成長のスピードと角度の向 確固たる組織を確立の下、上を目指してまいります。

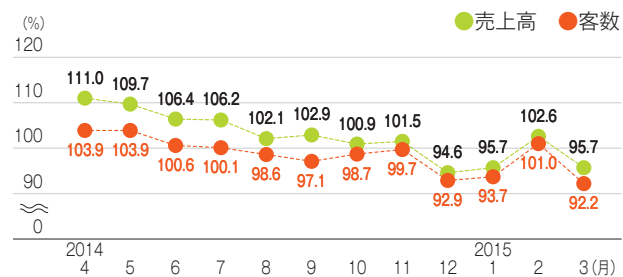
Q1 当期の市場環境、また決算のポイントなどについて教えてください。

A1 コンビニエンスストアとの競争を常に意識する一年となりました。

当期の主な連結業績は売上高37,679百万円(前期比1.2%増)、営業利益811百万円(同10.0%減)、経常利益912百万円(同0.8%減)、当期純利益261百万円(同54.3%増)となりました。当期の経営環境を総じて申し上げると、同業他社との競争は勿論のこと、身近にあるコンビニエンスストアとの競争がより鮮明化する状況でもありました。このような環境の下、当社は一つひとつの商品価値の向上、換言すればコンビニエンスストアでは決して味わうことのできない美味しさ、価格と商品価値の提供に努めてまいりました。

その結果、売上面では厳しい経営環境の中でも前期比1.2%の増収を確保するに至りました。一方、利益面では、東日本での下半期の天候不順による客数鈍化の影響に対して、経費削減策や内製化比

■売上高／客数前年同月比の推移(直営店全店)



率の向上により、一定の効果を上げることができました。

コンビニエンスストアの台頭などを主要因として、外食産業全体の混沌とした状況は長期化の様相を呈してきております。このような時代背景の中で勝ち残れるのか、負け組の方になってしまうのか、当社としてはしっかりとした経営の舵取りに邁進し、成長軌道への回復を着実なものとしていきたいと考えております。

Q2 今後「成長のスピードと角度」を高めていくためには、どのような点に注力していく方針でしょうか？

A2 500店舗体制に相応しい組織力の強化と西日本地区の開拓、をポイントとして捉えています。

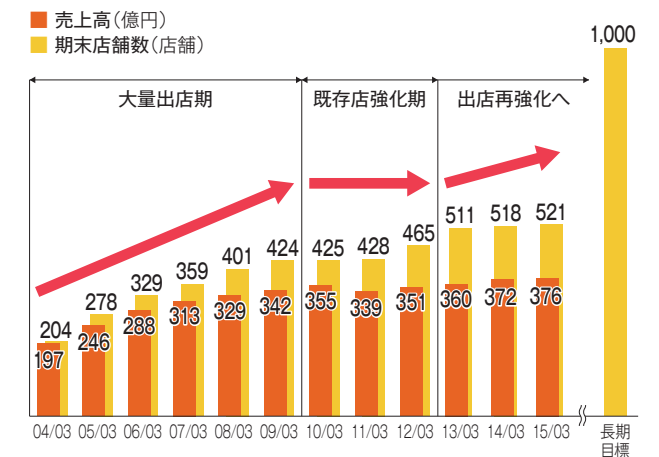
出退店の主な状況といたしまして、国内では当期20店舗の新規出店、スクラップ20店舗、スクラップ・アンド・ビルド3店舗を行い、国内総店舗数は前期末と同数となりました。

「総店舗数の1割程度に当たる新規出店」を目標としてきた当社にとって、総店舗数ブライゼロという状況は甚だ遺憾ではありますが、次の成長を着実なものとするためには500店舗体制に“相応しい”組織の構築を優先すべきという経営判断に至り、2年前から様々な内部改革に着手してまいりました。その一例が、第44期報告書でもご紹介した「営業強化会議」の展開です。同会議が始動してからまだ間もないですが、ディストリクトマネジャー・エリアマネジャー・店長の

役割の再編成や組織全体としての底上げもかなり進み、一定の手応えを感じているところでございます。この動きを緩めることなく今後さらに改革を進め、第46期(2016年3月期)は36店舗の新規出店(計画)と総店舗数の純増を果たしていきたいと考えております。

組織力の強化と並行して注力したいのが、西日本地区をはじめとする新商圏の開拓です。36店舗の新規出店のうち、そのほとんどは西日本地区への出店を計画しております。昨年10月にオープン以来好調が続く「倉敷四十瀬店」(岡山県倉敷市)を足掛かりに、岡山県・広島県を中心とした西日本地区の開拓を進めるとともに、北海道地区も第46期には総店舗数で10店舗にまで引き上げる計画です。なお海外のタイについては、当初目標である10店舗体制へ向けて今年7月には6号店目を順調にオープンできる運びとなりました。同店舗はこれまでの店舗デザインを一新してファッション性を高めた店舗に仕上げており、今後タイ出店での良い影響を与えてくれる店舗として期待しております。

■売上高と店舗数(海外店舗を含む)の推移



らーめんのナショナルチェーンとして今日まで経営を展開する中、100店舗体制の壁や200店舗、300店舗の壁など様々な局面を乗り越え、当社は成長を遂げてまいりました。地道ではありますが次の大

展開をしていくための地固めの時期として、今はしっかりと組織の立て直しに努め、現在直面している500店舗の壁も打ち破っていきたいと考えております。

期待の新メニュー「『司』らーめん」がいよいよ全国の店舗へ導入となりました。

Q3 | **メニュー政策の状況についてはいかがでしょうか？**
A3 | **新メニュー「『司』らーめん」を全国導入してまいります。**

大きくは「お客様を飽きさせない商品を年間を通じて提供していく」ということを念頭に置きながら、月替わり「大盛り無料キャンペーン」シリーズの展開やメニュー全体の充実へ機動的に取り組んでまいりました。その一環として今回株主の皆様には是非ご紹介したいのが、岡山限定メニューから全国のレギュラーメニューへと組み入れた「『司』らーめん」(520円／税込561円)です。

当初は倉敷四十瀬店オープン時の限定メニューとして販売していた商品でしたが、「美味しい、また食べたい」といったたくさんのお客様のお声とともに圧倒的な注文率を継続、またその後の様々な地域の新店でのテスト導入も好調なことから、本年5月より全店導入することといたしました。当社メニューの価格ラインとしては決して低い方ではありませんが、とんこつ醤油味のコクのある味わいやチャージューが5枚入っていることなど、価格に対する商品価値がお客様に受け入れられたものと大変嬉しく思っております。

今後、客単価を確保しながら経営を維持・展開していく中で経営情勢等により、基本的メニュー構成や価格ラインに変化が生まれる

■ 2016年3月期業績の見通し

科目	業績予想(百万円)	増減比率(%)
売上高	40,358	7.1
営業利益	1,026	26.5
経常利益	1,044	14.4
当期純利益	367	40.3

Q4 | **最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。**
A4 | **2015年7月より、会社分割による持株会社体制へ移行いたします。**

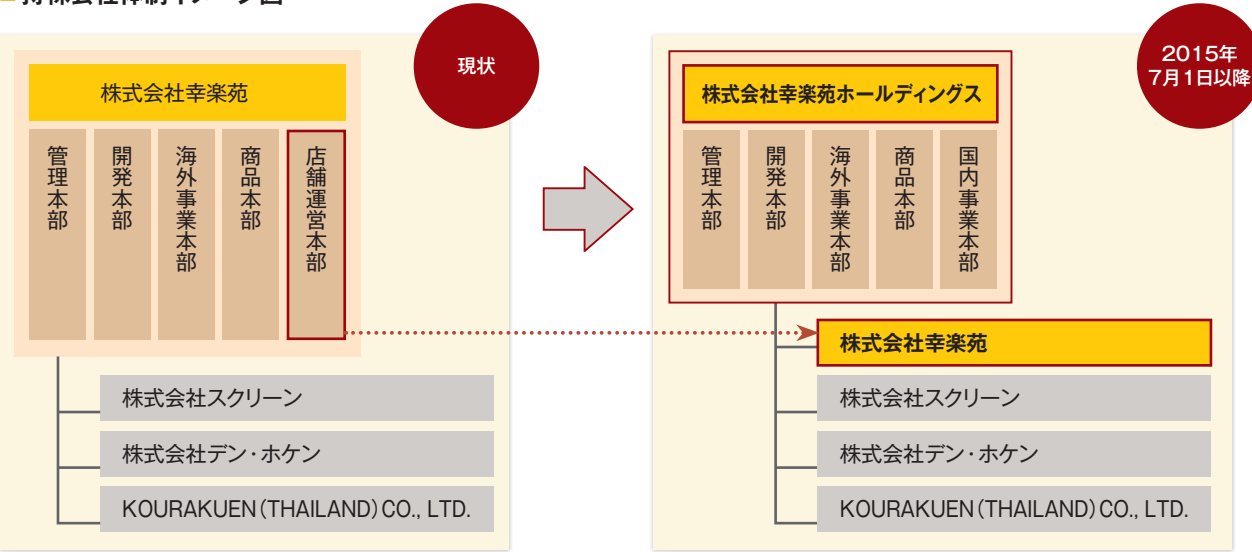
当社は2015年7月1日を期して、会社分割方式により持株会社体制へ移行することといたしました。持株会社体制への移行に伴い、同日をもって、当社は商号を「株式会社幸楽苑ホールディング

ス」に変更し、引き続きグループ会社の経営管理を行う持株会社として上場を維持いたします。

外食産業全体の混沌とした状況が続く中、当社グループの持続的な成長と企業価値の最大化を実現するためには、市場環境の変化に即応できる機動的かつ柔軟な意思決定と業務執行を可能とするグループ体制への移行が必要と考え、持株会社体制への移行を決断した次第です。権限と責任がより明確となる新体制下では、より一層の経営の効率化とともに、経営資源の最適配分・ガバナンスの強化にも取り組み、グループ全体の企業価値の最大化を目指してまいります。

なお末筆になりましたが、当期末の配当金は1株当たり10円とさせて頂きました。これにより、中間配当金1株当たり10円と合わせ、年間配当金は1株当たり20円とさせて頂きました。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援とご鞭撻を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

■ 持株会社体制イメージ図





- ◆「『司』らーめん」全国展開へ
- ◆調理方法一新！絶品チャーハン大好評

渾身の一杯！

「『司』らーめん」を全国のお店へ

本年5月より、期待の新メニュー「『司』らーめん」(520円／税込561円)を全国の幸楽苑店舗(一部店舗を除く)にて販売を開始しました。らーめんの特徴は、現在の熟成多加水太麺から一変して当社では初の「細麺」を採用し、スープも従来のあっさり醤油味とは違い今まで以上に旨みを追求した「とんこつ醤油味」に仕上げ、コクがありながらも飽きることが無い三位一体の味を醸し出しています。創業以来長年にわたり研究を積み重ね続けてきた結果、まさに当社にとっては渾身の一杯が出来上がっております。さらに商品名の「司」は、創業者である新井田司の名前をとって命名いたしました。是非一度ご賞味ください！



KOURAKUEN-HISTORY

創業者“新井田司”と幸楽苑

1899年(明治32年)生まれ、1954年(昭和29年)、福島県会津若松市に「味よし食堂」を開店。この従業員3名の雨漏りする食堂から幸楽苑は始まりました。

苦難の中から生まれた司氏の確固たる精神は
『お客様を大切にする』
『お取引先様を大切にする』
『働く人を大切にする』
そして『誠実に努力する』です。

この創業者精神こそ株式会社幸楽苑の精神として今もなお脈々と受け継がれています。

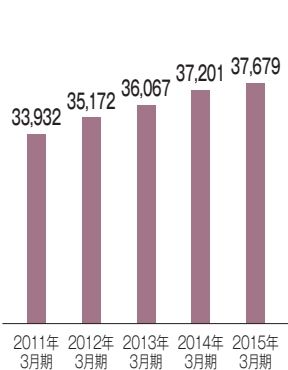
調理方法を一新！

絶品チャーハンが大好評です

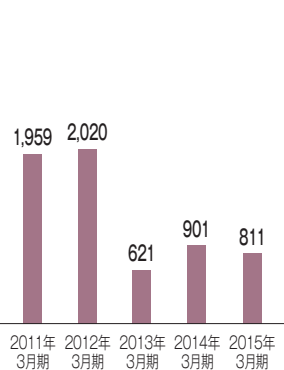
幸楽苑のチャーハンが「絶品チャーハン」(310円／税込334円)となって新しく生まれ変わりました。五感で味わって頂くため出来立て(温度・色・香り・食感)にこだわり、当社の品質基準を満たすための調理方法と調理機器を一新してさらに美味しく、またこれまでより20gも増量しました。おすすめのサイドメニューの一品です。



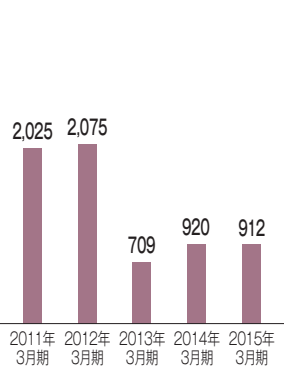
売上高 (百万円)



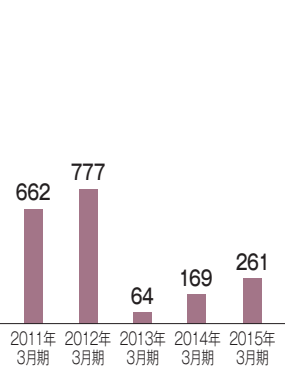
営業利益 (百万円)



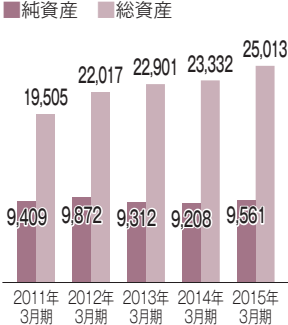
経常利益 (百万円)



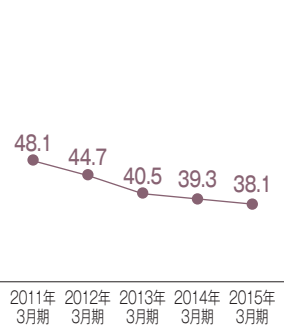
当期純利益 (百万円)



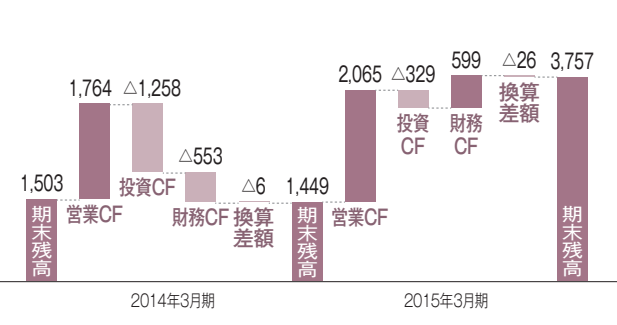
純資産／総資産 (百万円)



自己資本比率 (%)



キャッシュ・フローの状況 (百万円)



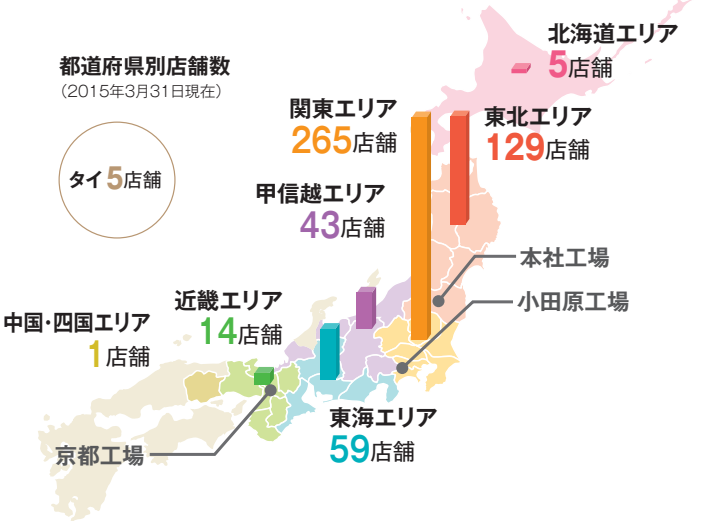
POINT
当期決算のポイント

財務情報は当社ホームページの「IR情報」でもご覧いただけます。

- ▶ **資産** 流動資産は、前連結会計年度末に比べ2,224百万円増加し、5,290百万円となりました。これは、現金及び預金2,290百万円の増加等によるものであります。
固定資産は、前連結会計年度末に比べ543百万円減少し、19,722百万円となりました。これは、退職給付に係る資産139百万円の増加及び投資有価証券270百万円、建設協力金190百万円、繰延税金資産118百万円の減少等によるものであります。
- ▶ **負債** 流動負債は、前連結会計年度末に比べ422百万円増加し、7,231百万円となりました。これは、一年内返済長期借入金555百万円、未払消費税等499百万円の増加及び買掛金125百万円、短期借入金338百万円、未払法人税等106百万円の減少等によるものであります。
固定負債は、前連結会計年度末に比べ906百万円増加し、8,220百万円となりました。これは、長期借入金1,009百万円の増加及び退職給付に係る負債111百万円の減少等によるものであります。
- ▶ **純資産** 純資産合計は、前連結会計年度末に比べ352百万円増加し、9,561百万円となりました。これは、資本金137百万円、資本剰余金137百万円の増加等によるものであります。

当期の店舗状況

当期の店舗展開につきましては、新商勢圏となる岡山県への新規出店を含め「幸楽苑」20店舗（ロードサイド8店舗、ショッピングセンター内フードコート12店舗）を出店いたしました。また、3店舗のスクラップ・アンド・ビルドと20店舗のスクラップを実施いたしました。また、海外タイ王国においては「幸楽苑」2店舗を新規出店いたしました。
その結果、当期末のグループ全体の店舗数は521店舗（前期比3店舗増）となりました。



第46期上半期の新店舗紹介 (2015/4/1～2015/9/30)

北海道 ● イオンモール旭川駅前店 (2015.4.6) 北海道旭川市宮下通7丁目2番5号 ● 千歳店 (2015.5.18) 北海道千歳市栄町7丁目1237番地16 ● 苫小牧日の出町店 (2015.6.15) 北海道苫小牧市日の出町2丁目12番16号	岩手県 ● 北上店 (2015.7.6) 岩手県北上市大通り4丁目145.146.147	栃木県 ● イオンモール佐野新都市店 (2015.5.18) 栃木県佐野市高萩町1324番地1	埼玉県 ● イトーヨーカドー久喜店 (2015.8.24) 埼玉県久喜市中央4丁目9番地11号	千葉県 ● 野田山崎店 (2015.6.22) 千葉県野田市山崎2636番地1	東京都 ● 葛飾新宿店 (2015.4.13) 東京都葛飾区新宿3丁目17番15号	東京都 ● イトーヨーカドー赤羽店 (2015.8.24) 東京都北区赤羽西1丁目7番地1号	神奈川県 ● 横浜若草台店 (2015.4.20) 神奈川県横浜市青葉区若草台1番地6	富山県 ● イオンモールとなみ店 (2015.7.14) 富山県礪波市中神字ノ島31街区1他	岡山県 ● 岡山津高店 (2015.7.21) 岡山県岡山市北区津高369番地1	広島県 ● イオンモール広島祇園店 (2015.7.27) 広島県広島市安佐南区祇園3丁目2番1号 ● 広島五日市店 (2015.9.28) 広島県広島市佐伯区五日市4丁目1399-1 ● 福山新涯店 (2015.8.3) 広島県福山市新涯町1丁目492番地2
---	--	---	---	---	---	--	---	--	--	--

※ オープン日は2015年5月31日現在の見通しのため若干変更となる場合がございます。

▶ 会社の概要

商号	株式会社 幸楽苑
設立	1970年11月11日
主要な事業の内容	当社は、ラーメン、餃子等を製造・直販するほか、フランチャイズ加盟店の募集、加盟店への麺・スープ等の食材並びに消耗品等の販売、経営指導業務、和食等の販売を主な事業とし、国内28都道府県及びタイ王国に店舗展開をいたしております。
店舗数	521店舗 直営店 502店舗 FC店 14店舗 タイ 5店舗
資本金	2,860百万円
本店所在地	福島県郡山市田村町金屋字川久保1番地1
工場	郡山工場：福島県郡山市田村町金屋字川久保1番地1 小田原工場：神奈川県小田原市中村原521-1 京都工場：京都府京田辺市大住門田20
従業員数	1,264名 上記従業員のほかに、臨時従業員3,748名(1日7時間45分換算)を雇用しております。

ホームページのご案内

当社ホームページでは店舗情報からサービス情報、工場案内の他、IR情報やCSRへの取り組みについてなど、当社を理解いただくための様々な情報を発信しています。ぜひご覧ください。

<http://www.kourakuen.co.jp>



公式facebookのご案内

当社の新商品案内や新店オープン情報など様々なニュースを配信しています。皆様のアクセスをお待ちしております。

<http://www.facebook.com/Kourakuen>



※当社ホームページの「HOME画面」下記のfacebook/バナーからのアクセスも可能となっております。

▶ 取締役及び監査役 (2015年6月18日現在)

代表取締役社長	新井田 傳
専務取締役	武田 典久 (管理本部長兼総務部長)
専務取締役	武田 光秀 (商品本部長)
常務取締役	久保田 祐一 (経理部長)
常務取締役	佐藤 光之 (店舗運営本部長)
常務取締役	新井田 昇 (海外事業本部長)
取締役	渡辺 秀夫 (内部監査室長)
取締役	室井 一訓 (経営企画室長)
社外取締役	鈴木 庸夫
常勤監査役	松本 廣文
社外監査役	前田 昭
社外監査役	星野 昌洋
社外監査役	石田 宏寿

▶ 執行役員

執行役員	藤村 哲 (小田原工場長)
執行役員	相山 良一 (商品部長)
執行役員	鈴木 昭二 (商品開発部長)
執行役員	樋口 喜宣 (店舗運営企画部長)
執行役員	羽根田 敏夫 (教育部長)
執行役員	白岩 昭彦 (開発本部長兼開発部長)

▶ 関連会社の概要

●株式会社 デン・ホケン		
設	立	2002年2月19日
主要な事業の内容		保険代理店業務
資本金(出資比率)		3,000万円(100%)

●株式会社 スクリーン		
設	立	2003年1月28日
主要な事業の内容		広告代理店業務
資本金(出資比率)		5,000万円(100%)

●KOURAKUEN (THAILAND) CO.,LTD.	
設 立	2011年9月23日
主要な事業の内容	ラーメン、餃子等の製造・直販
資本金(出資比率)	600万バーツ／約1,500万円(49%)

▶ 株式の状況

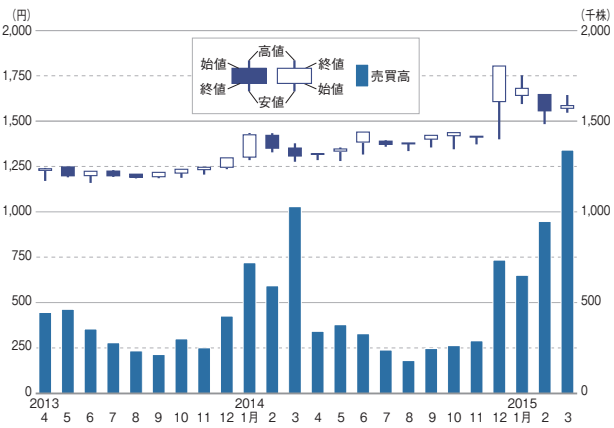
発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	16,561,825株 (自己株式15,116株を除く。)
株主数	21,683名

▶ 大株主

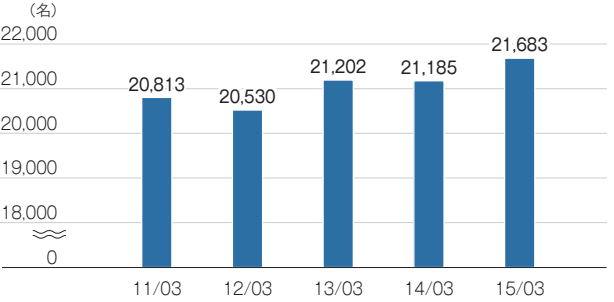
株主名	持株数(株)	持株比率(%)
株式会社ニイダホールディングス	4,168,098	25.1
日東富士製粉株式会社	445,830	2.6
株式会社東邦銀行	401,360	2.4
幸楽苑従業員持株会	358,397	2.1
アサヒビール株式会社	337,000	2.0
株式会社大東銀行	266,825	1.6
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託E口)	250,200	1.5
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	206,100	1.2
サッポロビール株式会社	180,000	1.0
アリアケジャパン株式会社	156,070	0.9

(注)持株比率については、自己株式(15,116株)を控除して算出しております。

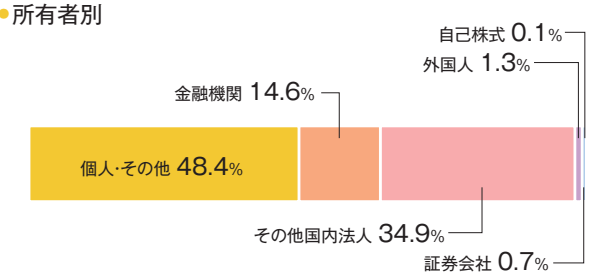
▶ 株価・出来高の推移



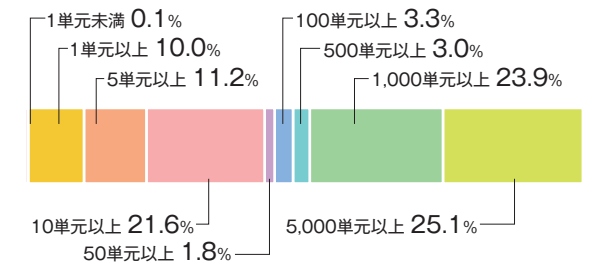
▶ 株主数の推移



▶ 株式の分布状況



● 所有株式数別



※100単元以上には、自己株式15,116株(0.1%)が含まれております。